

第2回建設部会 先進技術視察

目 的：建設現場における生産性の向上をはかるため最新技術に関する取組みを視察する。

視察先：秋田自動車道横手IC～湯田IC間の4車線化工事
(東日本高速道路(株)東北支社横手工事事務所)

- ・ 山内トンネル工事
- ・ 黒沢工事

実施日：2025年7月2日（水）

参加者：11名



山内トンネル工事

- トンネル延長は2,438mと秋田県内で最長であり、掘削済区間は1,380mで6割程度の進捗となっている。掘削の完了は今後1年程度を予定している。
- 掘削にはダイナマイトを用いないNATM工法（新オーストリアトンネル工法）を採用している。この工法は、掘削部分にコンクリートを吹き付け、迅速に硬化させ、岩盤とコンクリートを固定するロックボルトを深く打ち込み、地山自体の保持力を利用してトンネルを保持する工法であり、従来の矢板工法よりも品質の高いトンネルが構築できる。
- 掘削には自由断面掘削機を用いている。先端のカッターは約1mほどの大きさで、2日に1度交換するほど消耗する。



トンネル内の様子



自由断面掘削機



掘削中の岩盤

黒沢工事

- 黒沢工事は、山内トンネルを抜けた先の黒沢川橋、黒沢橋、田代沢橋の3橋の施工を行うもので、2023年8月から2028年4月までを工期としている。
- 本年5月時点での工事進捗率は4.1%で、黒沢川橋の橋脚上部の橋桁を支える部分の施工が進められている。また、JR北上線を跨ぐ箇所の上下部工の工事についてはJR東日本に委託し工事が進められている。
- 整備区間の4車線化工事完了後は、寿命の延伸と性能の向上を目的とした既存秋田道のリニューアル工事が行われるため、実際の供用開始は、4車線化工事完了後3～5年後となる見込みである。

